

## 「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田 壽夫(記録、写真) 倉谷邦雄(写真)

日時：2017(平成 29)年 8 月 3 日(木) 9:30～15:30

気象：天候=晴、気温(WL500m 付近；25℃)

活動エリア：「44 林班ろ」内のモニタリング調査区、並びに周辺の混交林

活動内容：林床整備と枯損木除伐

参加者：石原順子、斧田一陽、倉谷邦雄、武田壽夫、山國 (計 5 名)

### <今日も暑そうだが…>

先月 27 日は二十四節季の「大暑」、それかあらぬか大阪の最高気温は連日 35℃超。山仕事は給水・休憩と暑さ対策が肝要な時期、呉々もご用心。

さて、今日の目的は「44 林班ろ」での作業を尾根上のモニタリング調査区へと進めること。折から「さとり地域協議会」から「ヒアリ注意」「草刈り機事故防止」のパンフレットが届き、マダニを家に持ち込まないよう、帰宅後のザックや服装点検など、必要な対策も含め理解を深める。

### <いよいよモニタリング調査区の整備へ>

「44 林班ろ」のモニタリング調査区への尾根と山腹はこれまで 2 回の作業で整備が進んでいる。今日は尾根上に登って整備範囲を広げる。一帯は松も散見される人工林との混交林である。写真の通り、樹間が空いていて作業はしやすい。但し、松の枯損木は倒れる前に上部が折れて先に落ちてくる。ロープ掛けしても思う方向から外れて掛り木になる、と言った按配で一人が倒れ方を注意するなど慎重さが必要である。午後はいよいよモニタリング調査区に進む。

調査区では、除伐を要する枯木や邪魔な木に改めて目印の白テープを巻き直し、今後の作業準備を行うとともに、目につく枯損木の除伐と枯枝、倒木などの整理を進めた。午前・午後で約 0.1ha を整備。明日は「大阪さとり地域協議会」によるモニタリング調査区など我々の活動地一帯の視察が予定されている。その準備も兼ねて割には捗った 1 日だった。

### <今日の「生きものの記録」>

前回報告したキノコ中、「その②・③」は影も形も消えていた。鹿の餌になったのか、一説には自然に消滅するキノコもあるとか。その代りでもないが、今日はサルの腰かけをご覧にいれる。

一方、樹上では野鳥よりも蝉の声がしきり、里のクマゼミでなく、ニイニイ蝉、ヒグラシが耳に涼しい。帰途、本山寺本堂裏手辺りで谷からか鹿の鳴き声。

(本文 以上)

【終業…今日も一日ご苦労サン】



【夏は適度な給水を…本山寺境内のお清水】



【枯枝を整理して→右の写真へ】



【中央左右に棚積みが見える】



【松の枯損木との格闘】



【無事倒せて一安心】



【中央の広葉樹の枯木を除伐する】



【同左 除伐後、根元に棚積み】



【モニタリング調査区での作業】



【同左・・・立木の根元には整理した枯枝など】



【発見!! 猿の腰かけ】



【本山寺のオニユリ】

